



Hamamatsu Museum of Musical Instruments

浜松市楽器博物館だより

No. 44

2006. 7. 1

平成18年



## モーツァルト生誕250年記念レクチャーコンサート ピアノ協奏曲を室内楽で楽しみました！

今年にはモーツァルト（1756～1791）生誕250年の記念の年。各地でさまざまな催し物が行われていますが、楽器博物館でも6月8日午後6時半から「室内楽とピアノ協奏曲」と題して、モーツァルト作品を特集したレクチャーコンサートを行いました。会場は楽器博物館2階、アクトシティ浜松の音楽工房ホール。

演奏には楽器博物館所蔵の、1810年にウィーンでアントン・ワルター&サンによって製作されたピアノを使い、小倉貴久子さんのピアノと、ラバンドサンパ（ヴァイオリン2、ヴィオラ1、チェロ1、ナチュラルホルン1の5人編成）の合奏で、モーツァルトの「ピアノ協奏曲第12番イ長調K.414」を演奏しました。

現代のピアノと比べると、楽器のサイズも音量も小さい19世紀のピアノですが、その柔らかな音色

は、弦楽器とよく受け合い、それぞれの奏者が音楽を語り合うような、非常に親密で即興的なアンサンブルが生まれました。モーツァルトが活躍していた当時のサロンの響きに、200人以上の聴衆はうっとりとして聴き入っていました。

また、この「ピアノ協奏曲」と「ホルン五重奏曲変ホ長調K.407」で使用したホルンは、モーツァルトの時代に使われた、ナチュラルホルンという種類のものです。現代のホルンのようにヴァルブ（変音装置）がついておらず、ただ管を巻いただけの単純な構造のものですが、そのとても暖かで素朴な音色も楽しむことができました。

当日はほかに「ピアノ四重奏曲ト短調K.478」「ママ、あなたに話します」による12の変奏曲（きらきら星変奏曲）ハ長調K.354「弦楽カルテット第2番『ミラノ・カルテット』K.155」が演奏されました。



# リニューアルオープンから 3ヶ月！楽しさ倍増！！

「みる・きく・ふれる」をさらに深化・拡大させたリニューアルオープンから約3ヶ月が経ち、全国からたくさんの方々が来館されています。新たに導入されたイヤホンガイドや映像モニターも好評で、世界の楽器を前に、みなさん驚きや感激の表情が隠せない様子です。また、5月にはイヤホンガイドの解説数を大幅に増やし、現在80点もの楽器の音色や説明を聞くことが出来るなど、リニューアル後もさらに進化し続けています。



～たくさんの方々から感想を寄せていただきました～

- ・体験ルームで、たくさんの楽器をさわって楽しかったです。(10代：浜松市在住)
- ・想像以上にいろいろな楽器があり驚きました。また、地域別に展示されているので、とても見学しやすかったです。(30代：愛知県在住)
- ・イヤホンガイドを使い、1つ1つの楽器に興味深く、身近に見ることが出来ました。(50代：京都在住)



## G.W.ミニコンサート開催

### 「オンド・マルトノとテルミン」

5月3日、4日は、電子楽器のオンド・マルトノとテルミンを紹介しました。本体のまわりをいろいろな種類のスピーカーが取り囲むオンド・マルトノと、楽器には手を触れずに演奏するテルミン。見た目にも楽しい楽器の姿と、演奏スタイルから目にはなせません。演奏は坪内浩文さん。電子楽器でありながら、人間の声色にも似た、なんとまあたかくほんわかした音色に、うっとり酔いしれたひとときでした。



「オンド・マルトノ」



「テルミン」

### 「カリンバ」

5日は、アフリカのカリンバを紹介しました。カリンバは、親指ピアノとも呼ばれる、静かでやさしい音色の楽器です。このコンサートでは楽譜を使用せず、演奏者のロビン・ロイドさんは、参加されたみなさんとお話をしながら、即興で演奏して下さいました。また、みなさんも手拍子で演奏に参加したり、子守唄を覚え、歌ったりと、演奏者と聞き手が一体となる、アフリカンスタイルの音楽を楽しみました。



「カリンバ」



## 特別展「弦楽器の名器たち」

### ～大阪音楽大学サントリー弦楽器コレクション展～

まもなく開催!

期間:2006 7/16(日)～8/31(木)

この特別展では、大阪音楽大学音楽博物館(大阪府豊中市)よりサントリー弦楽器コレクションをお借りし、貴重な資料約60点を紹介します。期間中には、同コレクションのアントニオ・ストラディヴァーリ作「ピッコロ・ヴァイオリン」、ガスパロ・ダ・サロ作「ヴィオラ・ダ・ガンバ」などを使用してのレクチャーコンサートや、ヴァイオリン製作のマイスターによる講座も開催します。



左:ヴィオラ・ダ・ガンバ  
(ガスパロ・ダ・サロ作  
16世紀後半)

右:ピッコロ・ヴァイオリン  
(アントニオ・ストラディ  
ヴァーリ作 1720年)

◆入館料:大人600円 高校生300円 小中学生50円(いずれも常設展観覧料を含む)

■関連事業(会場:アクトシティ浜松 音楽工房ホール)

●特別展レクチャーコンサート

8/6(日) 14:00～ 「ヴァイオリンの歴史と名器たち」  
演奏:松田淳一(ヴァイオリン)、山上華子(19世紀ピアノ)

8/19(土) 14:00～ 「ヴィオラ・ダ・ガンバの歴史を辿る」  
演奏:坂本利文(ガンバ、レベックほか)、坂本洋子(打楽器ほか)

(両日とも)入場料:大人1,500円 学生800円

●特別展講座 8/5(土)14:00～「ヴァイオリンの秘密を探る」(入場無料・要申込)

講師:杉山和良(ヴァイオリン製作者)、演奏:松田淳一(ヴァイオリン)、山上華子(19世紀ピアノ)

## 移動楽器博物館が始まりました

浜松市内の小学校を巡回する移動楽器博物館「わくわく楽器ランド」が今年度も始まりました。まず、5月24日～26日に赤佐小学校を訪問しました。物語「スーホの白い馬」に出てくる馬頭琴を紹介すると、子どもたちは初めて見る馬頭琴を前に感激した様子でした。また、昼休みや放課後の自由時間にも、たくさんの児童が訪ねてきて、友達同士で仲良く楽器でコミュニケーションをする姿が見られました。今年度は、10校訪問します。



## 聖霊会の取材を行いました

四天王寺(大阪・天王寺区)で4月22日に行なわれた、舞楽法要「聖霊会(しょうりょうえ)」を取材しました。聖霊会は、四天王寺の建立者である聖徳太子の命日に毎年行なわれ、国の重要無形民俗文化財に登録されています。本年の聖霊会は、時折小雨が降るなか、四天王寺の石舞台で行なわれ、太平楽などの舞楽や行事などを執り行いました。今回の取材では、前日の練習風景から法要の全行程を写真およびビデオで記録しました。これらの資料は、今後展示等で紹介します。





# 鍵盤楽器CD新発売

リニューアルオープンを記念して、当館オリジナルCDが2種類仲間入りしました。

収録した楽器は、ウィーンを代表する製作家ワルターのフォルテピアノと、フランスの名工ブランシェが製作したチェンバロ。どちらも当館所蔵の世界に誇る楽器です。第一人者の小倉貴久子さんと中野振一郎さんの演奏で、当時の音色がよみがえりました。ウィーンの華やかな舞踏会音楽と、フランス音楽の美の世界をどうぞお楽しみ下さい。



「舞踏への勧誘」(フォルテピアノ) ¥2,200



「百合の花ひらく」(チェンバロ) ¥3,200(2枚組)

●ミュージアムショップ「アンダンテ」にて好評発売中！  
Tel: 053-451-0300

ショパンの愛したプレイエル・ピアノのCDも秋頃発売予定です。お楽しみに！

## ◆これからの催し物

- ギャラリートーク 毎日曜日  
展示室ガイドツアー 展示品の解説  
ミニコンサート 職員やゲストによる演奏  
※内容・時間はお問い合わせ下さい。
- 展示品の演奏デモンストレーション 毎日10:00～16:00  
1時間毎 チェンバロや19世紀のピアノなどのデモ演奏
- レクチャーコンサート  
「リンバの世界いまわかし」  
7/8(土) 14:00 アクトシティ浜松音楽工房ホール  
演奏: サカキ・マンゴーとその仲間
- 特別展  
「弦楽器の名器たち～大阪音楽大学サントリー弦楽器コレクション展～」  
7/16(日)～8/31(木)  
1階展示室 特別展観覧料が必要です。  
ストラディヴァリ作とグアルネリ作の世界に数台しかないピッコロ・ヴァイオリン、ガスパロ・ダ・サロ作のヴィオラ・ダ・ガンバなど、大阪音楽大学サントリー弦楽器コレクションの名器を展示します。
- <特別展関連事業>
- 特別展講座「ヴァイオリンの秘密を探る」  
8/5(土) 14:00 アクトシティ浜松音楽工房ホール  
講師: 杉山和良(ヴァイオリン製作家)  
演奏: 松田淳一(ヴァイオリン)、山上華子(ピアノ)
- 特別展レクチャーコンサート  
「ヴァイオリンの歴史と名器たち」  
8/6(日) 14:00 アクトシティ浜松音楽工房ホール  
演奏: 松田淳一(ヴァイオリン)、山上華子(ピアノ)  
「ヴィオラ・ダ・ガンバの歴史を辿る  
～中世・ルネサンスからバロックへ～」  
8/19(土) 14:00 アクトシティ浜松音楽工房ホール  
演奏: 坂本利文(ヴィオラ・ダ・ガンバ、フィーデル、レベックほか)  
坂本洋子(リコーダー、打楽器、ゴシックハープ)
- イブニングトーク&コンサート  
「サーランギー」  
8/22(火) 18:30 楽器博物館展示室 演奏: 小林祐介

## 「19世紀のピアノ」

9/1(金) 18:30 楽器博物館展示室 演奏: 本多まき

## ●世界の楽器体験ワークショップ「リンバ」

8/17(木) Aコース 13:00～、Bコース 15:00～  
講師: サカキ・マンゴー

## ●世界の楽器体験ワークショップ「バンジョー」

8/20(日) Aコース 13:00～、Bコース 15:00～  
講師: 原さとし(バンジョー演奏家)

## ◆博物館日誌

- 5/24(水)～5/26(金)  
移動楽器博物館(浜松市立赤佐小学校)
- 5/31(水)～6/2(金)  
移動楽器博物館(浜松市立北小学校)
- 6/8(木)  
レクチャーコンサート  
「モーツァルト生誕250年記念 室内楽とピアノ協奏曲」  
18:30 アクトシティ浜松音楽工房ホール  
演奏: 小倉貴久子(フォルテピアノ)  
ラバンド サンパ(室内楽) 入場者208名
- 6/8(木)～6/9(金)  
移動楽器博物館(浜松市立伊平小学校)
- 6/14(水)～6/15(木)  
移動楽器博物館(浜松市立西都台小学校)
- 6/26(月)～6/29(木)  
移動楽器博物館(浜松市立北浜北小学校)

## ◆4月～5月の観覧者数

	4月	5月	2ヶ月の合計	開館からの累計
大人	4,927	7,689	12,616	709,731
中人	1,016	226	1,242	28,866
小人	1,289	1,905	3,194	159,904
幼児	264	414	678	43,174
計	7,496	10,234	17,730	941,675

## 利 用 案 内

開館時間: 午前9:30～午後5:00  
休館日: 毎月第2水曜日(祝日の時は翌日)、年末年始、  
その他施設点検等のための臨時休館日  
常設展観覧料: 個人 団体(20人以上) 団体(80人以上)  
大人(大学生以上) 400円 320円 240円  
中人(高校生) 200円 160円 120円  
※中学生以下、高齢者(70歳以上)、障害者の常設展入館料は無料です。

## 浜松市楽器博物館だより

平成18年7月1日発行 No.44  
編集 浜松市楽器博物館  
〒430-7790 静岡県浜松市中央3-9-1  
TEL: 053-451-1128  
FAX: 053-451-1129  
URL: <http://www.gakkihaku.jp>  
MAIL: [wakuwaku@gakkihaku.jp](mailto:wakuwaku@gakkihaku.jp)  
印刷 株式会社シバプリント